

秋ノ十表

三位へみと申人御むこにとりたる上らうに

このあね田おはして侍り明くれはおこ (田〓「君」に濁点)

なひのみして仏神へぶつじん今生へこんじやうにて父へちへ

母へはへの行衛へゆくゑしらさせ給へと申てなくより

ほかの事おはせずと語ければなみだ

ぐみて聞いれぬさまにぞもてなしける

西行へさいぎやういかと思ひけんその次へつぎの日冷泉殿の

そばなる小家へこいゑにまかりてあるじを

かたらひてこのむすめをよびければわが